

# 芳賀赤十字病院便の運行方法(案)について

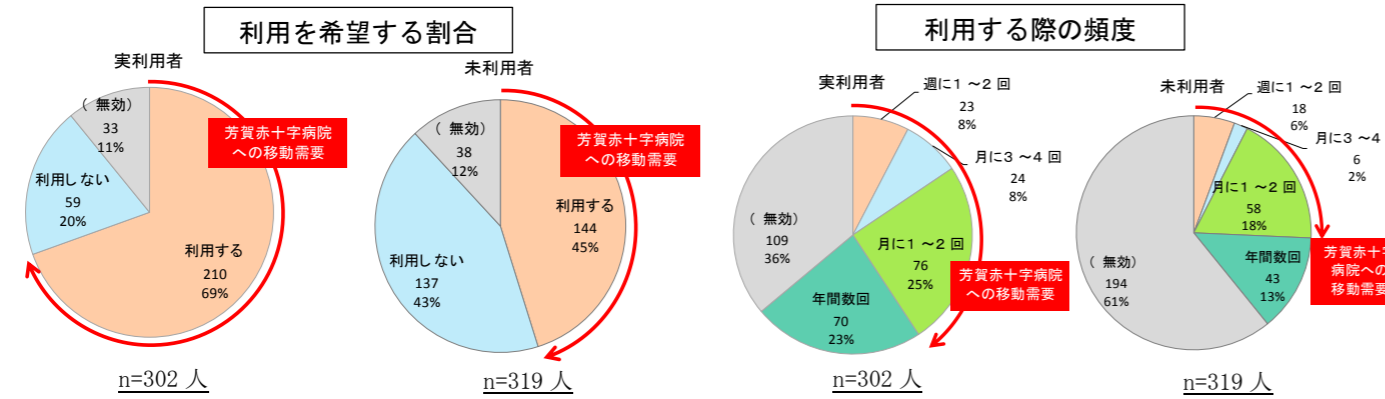
## ■ 1 運行方式

- 基本的には、現行と同様な運行方式とし、事前予約による乗車を原則とするとともに、町内から芳賀赤十字病院までのドア・ツー・ドアによる送迎を行う。

## ■ 2 運行範囲

- 平成 30 年 8 月に実施した「ふれあいタクシー「ひばり」に関するアンケート調査（以下、「アンケート調査」とする）」によると、「「ひばり」を利用して芳賀赤十字病院へ行く」と回答した割合は、実利用者の 69%、未利用者の 45%、全体では 57%を占める結果となった。

→ 高齢者をはじめとする町民の通院手段として、「ひばり」の新たな利活用に対する期待が大きいことから、「**芳賀赤十字病院への乗り入れ**」を計画する。



## ■ 3 運行日と運行時間

- 芳賀赤十字病院の診療日は、「平日」及び「第1・第3土曜日（第2・第4・第5は休診）の午前中」となっており、土曜日の診療時間は短く、年間の診療日数も少ない。
- アンケート調査の“利用したい曜日”の結果を踏まえると、「平日」の需要は多いが「土曜日」は少ないことが予想される。

→ 利用者アンケートから想定される土曜日の需要は少なく、また、新サービスの導入初期であることから、事業者負担やコスト面に配慮し、土曜日の運行は控え「平日のみ」の運行とする。

- アンケート調査によると、“利用したい曜日と時間帯”は、「月・火・水曜日の8時台・9時台」に集中している。
- 芳賀赤十字病院の受付時刻は「7:30~11:00（※再診 ~15:00）」、診療時間「8:30~12:30（※再診 13:20~16:50）」であるため、午前の混雑する時間帯においても利用客を確実かつ安全に運送できる計画が必要。
- 労務基準（労働基準法）によると、安全な運行を担保するという観点から、バス運転士の運転時間の限度は、“1週間あたり原則として40時間”であり“連続運転時間は4時間（4時間経過後は30分以上の休憩の確保が必要。4時間以内での休憩は少なくとも10分以上として分割する）”等と定められている。

→ バス運転士の労務基準を踏まえ、運転手の1日8時間労働（+休憩1時間）の原則を遵守する。また、芳賀赤十字病院の受付時間等に配慮するとともに、まずは現行の「ひばり」の業務時間内で導入可能なサービスとして、「午前7時30分~午後4時30分（※12時台は除く）」の運行を計画する。

[ 利用を希望する時間帯（※一週間の中で需要が集中する時間帯を把握） ]

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	曜日計
月曜日	10%	10%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	21%
火曜日	12%	10%	1%	1%	0%	1%	1%	0%	0%	26%
水曜日	9%	9%	4%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	24%
木曜日	1%	8%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	13%
金曜日	3%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%
土曜日	3%	2%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	8%
時間計	37%	43%	10%	2%	2%	1%	2%	0%	1%	100%

※表は実利用者と未利用者の回答の合計に基づき作成

## ■ 4 運行便数

- 需要のピーク（最大値）は「月曜日の9時または火曜日の8時」と予想され、いずれも午前の早朝便である。
- 再診予約に限ることもあり、午後の便は利用者が少ないことが想定される。
- 移転後の芳賀赤十字病院への所要時間は、予約センターから片道20分程度と想定。（※google mapによる計測値）

[ 送迎方法のイメージ ]



- 病院への送り時間は**1時間20分**（町内1時間+日赤まで20分）を基本に運行計画を作成する。
- 病院からの送り時間は**1時間**とする。
- 需要が少ない午後の便の送迎は**1時間**とする。
- 回送に要する時間は**20分**とする。

※午前中（4.5時間）で計30分（20分+10分）の休憩を確保

午前便		午後便	
7:30	オペレーションC 発	13:00	オペレーションC 発
8:50	日赤 (回送) 着・発	14:00	日赤 (回送) 着・発
9:10	オペレーションC 着	15:00	オペレーションC 着
9:30	オペレーションC 発	15:30	日赤 (回送) 着・発
10:50	日赤 (休憩10分) 着	16:30	オペレーションC 着
11:00	日赤 発		
12:00	オペレーションC 着		

[ 運行シフトのイメージ ]

## ■ 5 使用車両

- 現状のデマンドタクシーの運行実績によると、セダン（定員5人）もワゴン（定員9人）も、1便（1時間内）で自宅~目的地まで送迎できる人数は概ね5人ほど（※自宅のみの送迎とした場合、時間が短縮されるためワゴン車1便で7~8人を運送可）である。
- 一方、アンケート調査に基づき需要推計を行った結果、1時間あたりの利用者数のピークは[上位推計]12人、[中位推計]10人、[低位推計]7人となり、上位推計及び中位推計においては“ワゴン車1台では運送しきれない人数”が推計された。

[ 需要予測値（低位推計） ]

(単位:人)

曜日	7-8時	9-10時	11-12時	13-14時	曜日計
月曜日	6	4	7	0	17
火曜日	6	5	6	1	18
水曜日	5	6	7	2	21
木曜日	2	2	3	1	8
金曜日	2	1	1	0	4
土曜日	2	2	1	0	5
時間計	23	20	27	4	74

- 車両サイズを上回る需要が予想されたものの、新たなサービスの導入初期段階であり、また、低位推計値の需要においては対応が可能ことから、「**ワゴン車1台**」による運行を計画し、今後の運行状況や利用者数を見ながらサービス内容の向上に取組むこととする。

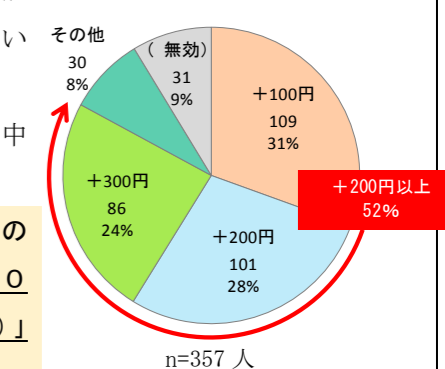
需要のピーク：7人

【必要車両サイズと台数】ワゴン1台

## ■ 6 運賃

- アンケート調査によると、利用意向のある回答者のうち8割以上から追加運賃の設問に対する回答が得られ、回答率は+100円（31%）よりも+200円以上（52%）の方が高い結果となっている。このことから、割り増し運賃を支払ってもサービスを利用したいという期待の高さがうかがえる。
- また、最寄りのバス路線である関東自動車（旧東野交通）の運賃は520円（橋場~中郷）であり、サービスレベルに大きな差が生じないように配慮する。

[ 希望する割り増し運賃 ]



- バス路線に比べ、「ひばり」の運賃を若干低い値にとどめるものの、デマンド交通の県内の運賃相場（最大ワンコイン程度）との比較を踏まえ、「**500円（基本料金+300円）**」とする。また、子供は利用機会が少ないため、「**200円（基本料金+100円）**」とする。